

平成30年度事業報告書

学校法人葛谷学園

中和医療専門学校

2. 学校案内・募集要項の改訂

志願者数が減少する中で、学生を確保するため、平成31年度入試用学校案内の一部改定作業を行い、本校の特徴を出し、受験生にアピールしていくことを更に意識した学校案内を作成した。

また毎年度、各部門で業務を行っていたためか横の繋がりが希薄であったため平成30年度中より平成32年度に向けて学校案内・募集要項とホームページとを同一業者に委託し、同じコンセプトの元、全面改定を行うための業者選定のためのコンペを行い、内容等の検討を年度内に実施した。

3. 学校説明会（オープンキャンパス）の実施

- ・第1回 5/27(日)：36名
- ・第2回 6/23(土)：37名
- ・第3回 7/29(日)：55名
- ・第4回 8/25(土)：52名
- ・第5回 9/22(土)：29名
- ・第6回 10/21(日)：29名

計238名

(参考 平成28年度：238名、平成29年度：234名)

学校説明会の回数は平成27年度より年6回開催しており、平成30年度も同回数を行った。また毎回とも出席者から評価の高い体験実習を取り入れた。

また過年度、参加数は増加していないが、参加する半数以上が実際に受験している状況を鑑みるに、参加者を増やすために広報を強化し、参加者の受験率を増やすために、学校説明会の内容の充実を工夫していく。

については平成30年度中より平成32年度入試に向け、学校説明会の時期、回数、方法、人員配置などの見直しを行った。

4. 学校訪問・進路相談会

学校訪問部会では、高校を中心にスポーツ系の学部や過去に受験者があった大学、短大及び学校説明会に参加者があった学校に、6月1日～29日にかけて学校訪問を行った（63校訪問）。

また、高校ごとに行う進路相談会にも希望者がいる学校には積極的に参加し、愛専各や業者（マイナビ、さんぽう等）の主催する専門学校展にも可能な限り参加している。

(参考 高校内ガイダンス11回、さんぽう10回、愛専各2回、キッズユーポ[®]2回、中京大学1回、マイナビ（進路のミカタ）1回）の計27回)

5. 広報活動の充実

広報部会では、ホームページや広告宣伝活動の充実を行なっている。近年の方策としては、新聞等の紙媒体から Web 等への選択と集中を行ってきた。また戦略としてはインターネットを活用した広告や医療系への進学希望者へのダイレクトメールの送付などを実施して、本校への認知度を高め、受験者数を増やすよう裾野を広げるような広報活動を行っている。

ただ毎年度、各部門で業務を行っていたためか横の繋がりが希薄であったため平成30年度途中より平成32年度に向けて学校案内・募集要項とホームページとを同一業者に委託し、同じコンセプトの元、全面改定を行うため業者選定のためのコンペを行い、内容等の検討を年度内に実施した。全面改定のホームページの公開は平成31年3月末を目標として、学校案内・募集要項の配布開始は平成31年4月下旬を目標として作業などを行った。

なお広報部会では、広報活動の費用対効果を十分に検討し効果的な広報活動が行えるよう PDCA サイクルを活用していく。

○広報活動の現状

①従来から実施しているもの。

- ・学校案内等を卒業生や関係団体宛に送付。
- ・進学ネットサイト検索の充実（「マイナビ進学」：マイナビ）
- ・進学ネットサイト検索の充実（「日本の学校」：JS コーポレーション）

②平成28年度から実施しているもの。

- ・高校生にダイレクトメールの送付（JS コーポレーションより、約 2,000 名）。

③平成29年度から実施しているもの。

- ・進学ネットサイト検索の充実（「スタディサプリ進路」：リクルート）
- ・平成28年度実施したフェイスブック広告を1ヶ月間から2ヶ月間とした（社会人のアクセス増加）

④平成30年度から実施しているもの。

- ・進学サイトのトップページにバナー広告提示（マイナビ）。
- ・社会人の医療系への転職希望者に対してダイレクトメールを送付（リクルートより）。

(3) 就職への取り組み

1. 企業説明会の開催

卒業生の就職先の確保充実のため、平成30年6月8日(金)に1号館2階、視聴覚教室、第5実技実習室などにおいて企業説明会を開催した。平成29年度の参加企業は61社であった。

平成27年度までの実施時期は10月であったが、平成28年度は7月に早めた。

平成29年度はさらに早め6月に実施した。これらは参加企業や生徒に対するアンケートの結果を参考にして変更したものである。

2. 就職相談会の実施

毎年度末に実施している就職相談会を、平成31年3月14日（木）、15日（金）の2日間に亘り、就職未定者に対して実施した（相談者数：7名）。

（4）近隣地域との取り組み

1. 「私学を良くする愛知父母懇談会」との取り組み

私学を良くする愛知父母懇談会主催の企画に、本校を会場提供するとともに、二つの企画に平成30年度も参加した。

○「初夏のつどい」 : 6月 3日（日）

○「輝良ッ都フェスティバル in 稲沢」 : 11月18日（日）。

本企画は県内の高校生と父母会が愛知県下の高校を主とした39会場で様々なイベントを開催しており、認知度が高いものである。

本校と「輝良ッ都フェスティバル」との係わりは、従来から行われており、本校の教員と学生による「マッサージ教室」の企画は好評である。また「初夏のつどい」についても平成28年度から参画しており、主催側のテーマに沿って教職員が対応している。

これらの行事は高校生が多く参加し、本校の存在をアピールする絶好の機会であり今後も積極的に関わっていきたい。

2. ボランティア活動の取り組み

外部から以下の様なボランティア活動の依頼要請があり参加した。

- ・愛知県高校陸上尾張大会（春） : 4月29日（教員1名、学生生徒4名）
- ・ウェルフェア2018 : 5月19日（教員1名、学生生徒5名）
- ・七宗町レッキーマラソン : 12月 9日（教員3名、学生生徒4名）
- ・みのかもハーフマラソン : 1月 3日（教員4名、学生生徒14名）
- ・その他

2018 消防ひろば、春日井市健康救急フェスティバル、一宮市健康祭り、
愛知県高校陸上尾張大会（秋）、いちのみやパークマラソン、読売犬山ハーフマラソン、
名古屋ウイメンズマラソン

（5）生徒への取り組み

1. 授業アンケートの実施

教員の授業を改善していく資料として役立てるために、本科・専科・柔整科の学生全員を対象に授業アンケートを実施した。実施時期は前期と後期の試験週間の終

了後とした。授業アンケート対象科目は、前期については初年度であることを勘案して学科科目のみとし、後期については学科と実技科目の全科に行った。

また教員へのフィードバックは個人のIDとパスワードを知らせ、各自で閲覧するようにした。

2. 学園祭の実施

平成30年11月3日（土・祝）、本学園校舎内で生徒の親睦と近隣住民との交流を目的に第4回学園祭（中和祭）を実施した。

（参考：第1回平成22年11月、第2回平成25年11月、第3回平成28年11月）

3. 国家試験合格率の向上をめざして

国家試験合格率の向上をめざして、課外補講授業の実施や模擬試験の実施など、あはき関係科・柔整科それぞれにおいて実施した。

（6）経費削減への取り組み

コピー紙等消耗品、光熱費ほか、経費削減に引き続いて努力している。

II 教育部門

（あはき科・はき科）

1. 教員研修会

（公社）東洋療法学校協会主催第42回教員研修会が平成30年8月6日（月）～7日（火）に神奈川の神奈川衛生学園専門学校の主管で、メルキュールホテル横須賀にて「ストレス・マネージメント：教員バーンアウト予防のパラダイムシフト」をテーマに開催され、本校の常勤・専任教員7名が参加しました。

2. 学術大会

（公社）東洋療法学校協会主催第40回学術大会が平成30年10月5日（金）に日本鍼灸理療専門学校の主管で東京の「北とぴあ」にて行われた。テーマは「東洋医学 未来への飛翔」でした。本校からは、「頭部鍼刺激が顔面部に与える影響」と題したポスター発表を1題行いました。なお発表グループ生徒6名と引率教員3名が参加しました。

3. 基礎実習教育の充実

○専任教員と実習助手の2名体制

実技について平成30年度においても、あはきの基礎実習（本科の1年次のあん摩基礎実習・はり基礎実習H・きゅう基礎実習H、2年次の指圧基礎実習・はり基礎実習H-

Ⅱ・マッサージ基礎実習・はり基礎実習 H-Ⅲ、専科の1年次のはり基礎実習 S-I・きゅう基礎実習 S、2年次のはり基礎実習 S-II・はり基礎実習 S-Ⅲ)と1年次のあん摩応用実習 Iについて、専任教員と実習助手の2名体制で授業を行い、実技の初動教育を充実させ、本校の特色とし、他校との差別化を図りました。

4. 担当科目の専門性と高度化

平成30年度は、新カリキュラムが始まり、それにより1年次の保健概論の科目内容の見直しや経絡経穴概論の充実、新たな科目「生体観察」も立ち上がり、より生徒に対して充実したカリキュラム内容を進めている。

5. 国家試験補習講座・模擬試験の充実

① 既卒者国家試験不合格者を対象に国家試験対策補習講座を週当たり2日開講（全60回）、既卒生国家試験合格率向上に努めました。また、受講者各個人について特に弱い分野を分析し、各受講者に合った指導をしていくなどして、より一層の充実を努めました。

平成30年度は、12名の希望者を受け入れ、5月9日（水）より水曜日・木曜日の週2回実施しました。

② 3年生のうち、1年次・2年次の成績があまり良くない生徒26名を対象に、国家試験対策補習講座を授業後、時間外に5月7日（月）より月曜日・金曜日の週2回実施して在校生国家試験合格率向上に努めました。

③ 国家試験模擬試験の実施については、本科・専科3年生と既卒者の国家試験対策補習講座受講者を対象に合計4回実施しました。7月17日（火）では学内で作成した国家試験模擬試験（はき）を、11月15日（木）では（公社）東洋療法学校協会主催の統一模擬試験（はき）を、12月5日（水）では学内で作成した国家試験模擬試験（あはき）を、そして、2月5日（火）では理療科教員連盟作成の国家試験模擬試験（はき）を実施しました。

6. 特別講座の開講（カリキュラム外の講座）

2年生・3年生において1年次科目の成績不良者（仮進級者）を対象に、特別講座A（解剖学・生理学）を週当たり2コマ（前後期各20回）ずつ開講し、前期44名、後期40名の生徒が進級や国家試験の合格率の向上に努めました。また、2年次の技術実習練習不足を補うため希望者36名を対象に特別講座C（あん摩・はり・きゅうの基礎実技）を週当たり1コマ（前後期各10回）開講し実技の補習を実施しました。

3年生に対しては、希望者を対象に特別講座Bとして、「美容鍼灸」を1年通して週に1コマ（計20回）、さらに隔週で1コマ「スポーツ鍼治療」を計10回実施し、さらに、

前期のみに「経絡治療」と「小児障がいマッサージ」を週当たり1コマ（計10回）ずつ実施し、後期のみに「トレーナー活動」を週当たり1コマ（計10回）実施し、卒業後即戦力となる人材育成を図りました。同講座は、5月7日より順次実施されました。

7. (公社) 東洋療法学校協会主催はりきゅう実技審査試験の実施

本科・専科3年生に対し、11月10日の土曜日の1日を使い、(公社) 東洋療法学校協会主催はりきゅう実技評価審査を実施しました。この試験には、(公社) 東洋療法学校協会派遣のはりきゅう実技評価委員の先生4名が参加し、それぞれ先生方は、4ブースに分かれ、1人ずつ生徒が行うはり及びきゅうの実技を評価しました。合格者には、後日、学校協会から認定書が発行されました。

※(公社) 東洋療法学校協会のあま指実技評価試験実行委員会による「統一的な実技評価を目指した、あん摩マッサージ実技評価試験」のトライアルが10月6日(土)の1日を使い、本科3年生の生徒を対象に本校で行われました。実行委員7名が来校され、実技を評価しました。なお、後日学校協会から認定書が発行されました。

8. 1・2年生学力試験の実施

1年生と2年生全員に対し、3月5日(火)の大そうじ終了後1年間の学習の総復習ならびに総確認をするという目的で第27回の国家試験問題を中心とした試験問題を作成し学力確認試験として実施しました。

9. 解剖実習見学

本科・専科2年生を対象に5月2日(水)の午前と午後に分かれて、教員の引率のもと岐阜大学医学部において千田隆夫教授の指導を仰ぎながら解剖実習見学に参加しました。

10. 救命救急講習会の実施

本科・専科2年生を対象に、9月25日(火)・26日(水)・27日(木)の3日間の日程で各クラスを振り分けて、本校において稲沢消防署職員の方を講師に心肺蘇生法(CRP)・自動体外式除細動器(AED)の使用法を中心とした救命救急講習会(4時間)を実施しました。

11. 臨床実習前施術実技試験の実施

本校では、本・専科2年生の1月から中和医療専門学校附属治療所での臨床実習が始まります。そこで、附属治療所に入室する前に2年生を対象に実技試験と臨床に関する学科試験を行いました。なお、この実技試験は、31年度においては新カリキュラムの中で必須となっております。本科・専科の生徒の共通の課題として、はり実技、きゅう

実技及び経穴指示、さらに本科の生徒には按摩の実技の試験を、並びに本科・専科2年生全員に学科試験を、12月1日（土）の一日を使い実施しました。

12. 学科打合せ会議の実施

常勤教員と非常勤講師のうち学科を担当している教員を集めて本校の会議室で年2回〔4月4日（水）と10月3日（水）〕学科打合せ会議を実施し、学科科目の内容の精査や進行度合いなどを話し合い学科シラバスの充実に努め、生徒の基礎学力の向上を目指しています。

13. 実技打合せ会議の実施

常勤教員と非常勤講師のうち実習を担当している教員を集めて年3回〔4月5日（木）・8月31日（金）・12月20日（木）〕実技打合せ会議を実施し、実習科目の内容の精査や進行度合いなどを話し合い実習シラバスの充実に努め、生徒の実技技術の向上を目指しています。

（柔道整復科）

1. 教員研修会の参加

第60回（公社）全国柔道整復学校協会主催教員研修会が平成30年8月18日（土）、19日（日）に日本医学柔整鍼灸専門学校が主管校となり、品川プリンスホテル（東京）で開催された。本校からは教員5名が参加した。

2. 柔道大会の参加

① 第11回愛知県柔道整復専門学校柔道大会が6月3日（日）に愛知県武道館で開催され本校からは引率教員1名、スタッフ6名（顧問、監督、コーチ、トレーナー）、選手生徒5名の計12名が参加した。

② 第51回（公社）全国柔道整復学校協会主催柔道大会が平成30年8月22日（水）に東京武道館で開催された。本校からは引率教員1名、スタッフ5名（顧問、監督、コーチ、競技役員）、男子生徒が6名（三部）、女子生徒が3名（二部）の計15名が参加した。

③ 校内柔道大会が12月4日（火）に4号館 柔道場で開催した。全学年を対象に男女共、クラス選抜で参加した。

3. 認定実技審査の実施

(公財)柔道整復研修試験財団による認定実技審査(柔道整復実技と柔道実技)が平成30年11月25日(日)に本校4号館で開催された。平成30年度から審査内容が変更されるため「中和式認定実技マニュアル」小冊子を新たに作成し、それを生徒に配布して実技指導にあたった。受審者32名全員が合格した。

4. 補講講義の実施

学力向上対策の一環として1年生には基礎学力試験を課し基準に満たない生徒に対して基礎学力向上を目的とした講座を通年で実施、2年生には1年次単位未修得者に対して補講を通年で実施、3年生にも1・2年次単位未修得者に対して補講を通年で実施した。

5. 国家試験対策の充実

国家試験対策として2年生に実力試験を2回実施、3年生にも模擬試験を2回実施した。さらに3年生には2月に外部模擬試験を受験させると共に、必修問題(合格基準、正解率80%以上)対策の授業を組み込み全員国家試験合格を目指した。

6. 臨床実習前施術試験等の実施

カリキュラム改正に伴い臨床実習が学外で行えることになり、1単位を目安に実施予定。

これにともない臨床実習前施術試験等を行い生徒の習熟度を測ることが必要となったため、平成30年度は試行的に実施した。平成30年12月9日(日)柔整科2年生を対象に実施した。

7. 実習の充実

① 柔道実技において傷害防止と習熟度向上を目的として指導者3人による集団指導体制を平成20年度に導入しており、30年度も引き続き実施した。

② 附属接骨院においては平成22年6月から名古屋文理大学ハンドボール部の学生が、臨床実習の時間に来院することとなった。このことにより臨床実習を行う時の患者確保に繋がり、充実した臨床実習の場を提供できる素地ができた。

③ 解剖見学実習を5月1日(火)に岐阜大学医学部解剖実習室で行った。解剖学講座の千田教授の指導のもと柔整科2年の46名が参加した。

④ 救急救命(AED)講習を7月24日(火)に稲沢市消防職員の指導のもと柔整科2年の44名が参加した。修了証を全員取得した。

- ⑤ 医院見学実習を名古屋駅近くの米田医院の協力を得て行った。8月21日（火）に柔整科3年生の2名の生徒が実習を行った。院長とスタッフ指導のもと貴重な体験をすることができた。

8. 専門科目教員会議の実施

専門科目教員による会議を平成30年4月5日（木）と平成30年12月21日（金）に開催し学習内容の向上を図った。

9. 特別講演の実施

- ① 接骨院開業準備セミナーを7月24日（火）に柔整科3年生を対象に講演をおこなった。他校の柔道整復学校協会会員校で経営の講義を担当している専門の講師に依頼した。
- ② 超音波セミナーを7月25日（水）に柔整科3年生、平成31年3月6日（水）に柔整科2年生にも講演を行った。
- ③ 1年生特別講演を7月25日（水）に柔整科1年生を対象に本校卒業生より柔道整復師の取り扱い外傷について実技を交えて講演を行った。
- ④ 手技療法（マイオセラピー）の講演を平成31年3月5日（火）に全学年を対象に実技を交えて講演を行った。